

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	四国のスマートな家を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0115	—	0670

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<p>構成員を集め、各エリア(香川・徳島・高知・愛媛)でグループルールの説明会を開催しグループで獲得した補助枠を配分しなおかつ、追加要望を提出し最終49戸を17施工業者に配分出来た。</p> <p>平成30年度においては、未経験工務店9社へ補助金を渡し活用いただく事が出来た。</p> <p>地域型住宅グリーン化事業の趣旨を理解いただき、建築主との契約の後押しが出来た。</p>
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/06/20	名称	平成30年度 地域型住宅グリーン化事業説明会	●		
	内容	四国のスマートな家を考える会として、愛媛・高知・徳島・香川の4会場で開催した。内容はH30年度のG化事業概要説明と当グループルール、ハウスプラス様におけるサポート体制の説明。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/08	名称	2030年標準的な住宅ZEHについて	●		
	内容	徳島エリアの構成員メンバーにおいて、パナソニックSRを使用し契約前(推進中)のお施主をご案内し省エネ性能の高い住宅(ZEH等)を説明し契約に向けた後押しとした。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/04/02	名称	完成見学会	●		
	内容	構成員メンバーにおいて、耐震性能の高いテクノストラクチャー工法における新商品『キューブ』完成見学会を開催した。来場いただいたお施主様にG化事業の説明をし新規契約に向けたイベントとなった。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/02/22	名称	太陽光リースの紹介	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	・構成員である設計事業者のワイズ様(適合証取得)におけるグループ内サポート体制を作った。		
取組み②	サポートの有無 2	有		●
	内容	・構成員であるアーキスケルトンデザイン、またパナソニックにおけるすまいパートナーズに加盟いただくと外皮・一次エネルギー計算を活用出来る体制を整えた。		
取組み③	サポートの有無 3	有		●
	内容	・事務局として、補助金申請書類作成におけるサポート体制を作った。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	30
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	リビングベル等	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	・万一、工事継続が困難な事態が発生した場合事務局よりバックアップビルダーとなって頂く事をお願いする旨を施工業者に承諾をいただき会員となって頂く。引渡し前は、完成保証の案内し完成後は住宅瑕疵担保保険延長をルール化しています。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	・国土交通省主催の省エネ技術講習会への受講を案内し受講いただくよう義務付けた。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	・創エネルギーである太陽光発電システムの必要性を知っていただく為にパナソニックショールームに来場いただき研修会を実施した。特に建築予算の厳しいお施主様には太陽光のリースもあわせて紹介した。	
BELS工務店の登録数	7社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	四国のスマートな家を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0115	—	0670

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/11	名称	H31年度 地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	今年度も、四国エリア4会場で説明会を開催します。6月11日香川6月18日愛媛・高知、6月20日徳島						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/21	名称	省エネ勉強会		
	内容	・構成員の見込み客様をSRIに動員し、省エネ住宅ならびに補助事業について説明をする。あわせて、省エネ設備機器について見学いただく。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/11/09	名称	現場見学会		
③ 工務店	内容	・構成員の完成した物件において完成見学会を開催し、同時に補助事業の説明をする。						
	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/04	名称	省エネ設備機器勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/20	名称	建築物省エネ法改正の説明会	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/06/14	名称	安全衛生勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	・構成員である設計事業者のワイズ様(適合証取得)におけるグループ内サポート体制を今年度も継続して実施する。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	・構成員であるアーキスケルトンデザイン、またパナソニックにおけるすまいパートナーズに加盟いただくと外皮・一次エネルギー計算を活用出来る体制を今年度も継続して実施する。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	・事務局として、補助金申請書類作成におけるサポートを今年度も継続して実施する。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	リビングベル等
------------	----------	-----	---------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	・万一、工事継続が困難な事態が発生した場合事務局よりバックアップビルダーとなって頂く事をお願いする旨を施工事業者に承諾をいただき会員となって頂く。引渡し前は、完成保証の案内し完成後は住宅瑕疵担保保険延長をルール化を継続して実施します。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	・国土交通省主催の省エネ技術講習会への受講を案内し受講いただくよう義務付けします。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	・構成員のにおいて、相当数のOB顧客名簿を有するビルダーに対し省エネを推進するべく卒FIT向け蓄電池等提案できるスキームを作ります。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	四国のスマートな家を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0115	—	0670

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	四国地方は冬季のヒートショックによる家庭内事故が多く発生しており断熱性能を重視し等級4以上とし災害時の自宅での生活の継続性を考慮し非常用水として活用出来るようエコキュート、非常電源として太陽光発電システムや蓄電池を推奨します。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	・地域材は国内、国外の合法木材とします。 ・地域材を主要構造の過半に使用します。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	・I～IV事業者グループ加盟の施工事業者を紹介しそれぞれの特徴を生かして営業活動する場を設ける。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	・地域特性もふまえてグループ構成員で意見交換し調達の共同化をすすめる。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	・事務局がプレカット構成員より情報収集し、施工業者に発信します。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・グループとして標準仕様を提示し地域性をふまえて各構成員が標準仕様を設定する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	・共通の維持管理計画書にもとづき、点検・メンテナンスを行います。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	・設計事業者における金物検査を推奨し、今年度は補助事業物件の50%以上検査実施を目標として取組みます。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	・一式見積りの禁止、お施主様に理解しやすい用語使用等を共通取組みとします。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	・補助事業種類を問わず、太陽光発電システム設置を条件とします。ただし、設計における設置不可・設置メリット無しと事務局が判断した場合は除きます。 ・施工事業者は事前に事務局へ要相談とします。 ・太陽光発電システム設置におけるリースを可とします。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	・住宅事業者で定休日プラス、シフトでの休日取得等により週休2日制を導入している事例を紹介し、構成員の意識向上を図ります。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	・資格取得における手当等との加算を行い社員のモチベーションに成功している事例を紹介し、構成員の意識向上を図ります。 ・キャリアアップシステムを紹介し技能者の登録を推奨します。
③ 社会保険への加入	有	内容	・全事業者加入済みです。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	・事務局が構成員へ、安全衛生に関する資料提供を行い安全衛生協議会等の開催支援を行います。 ・特に四国地域は夏季高温となる為、熱中症対策を重点取組みとします。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	四国のスマートな家を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0115	—	0670

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	・高齢化に伴い、和室を推奨します。
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	・和のテイストを実現するために、活用を推奨します。
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	・建設地の街並み景観ガイドライン等に配慮した設計をする。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
・今年度もグループ事務局が構成員へ呼びかけ、ボランティア活動を推奨する。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
・事務局が中心となり、施工力・物資の要望を募り対応する。
・事務局の社内インフラを活用し、近隣グループからの応援体制を構築する。